

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費

項：医務費

目：医療整備対策費

事業名 新型コロナウイルス感染症医療機関再開支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医事係 電話番号：058-272-1111 (内3239)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,218 千円 (前年度予算額： 2,877 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,877	2,877	0	0	0	0	0	0	0
要求額	3,218	3,218	0	0	0	0	0	0	0
決定額	3,218	3,218	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県内で多くの医療機関で診療の一部を停止、休業を余儀無くされており、次の流行に備え、すみやかに診療が再開できるよう支援を行っていく。

(2) 事業内容

新型コロナウイルスが発生し、医療機関の全業務の休業、入院業務の休止、外来業務の休止、入院病棟の一部休棟、新規入院の休止、外来の一部閉鎖を行った医療機関に対し、再開・継続のための設備整備費等を補助する。

(3) 県負担・補助率の考え方

【財源】

国10/10（新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金）

【補助率等】

県1/2、事業者1/2

○補助基準額・補助額

- ・HEPAフィルター付き空気清浄機

補助基準額：905,000円/台（1医療機関あたり2台まで）

県補助額：905千円×1/2=452千円

- ・消毒経費等

補助基準額：600,000円（1医療機関あたり600,000円）

県補助額：600千円×1/2=300千円

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	3,218	業務の休止・一部休止を行った医療機関の再開・継続に向けた消毒経費等に対する補助金
合計	3,218	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

新型コロナウイルス感染症「非常事態」総合対策(R2.4.10)

(2) 国・他県の状況

○国方針

- ・「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」について(R2.4.7)
- ・新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針(R2.3.28)

(3) 後年度の財政負担

今後の流行に備え、引き続き支援していく必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

国が定めた緊急包括支援交付金交付要綱に、都道府県の補助事業であることが定められている。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

新型コロナウイルス感染症の更なる流行に備え、すみやかに診療が再開できるよう支援を行う必要がある。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルス感染症の流行を予測することは、困難であり、その都度対策を柔軟かつ迅速に実施する必要がある。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	業務の休止、一部休止を行った医療機関に対し、再開・継続に向けた消毒経費等に対する補助を行った。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 3 年度	業務の休止、一部休止を行った医療機関に対し、再開・継続に向けた消毒経費等に対する補助を行った。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	新型コロナウイルスは引き続き流行することが予測されており、これらに備えるため、早急な医療体制の確保が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 3	今後の流行に備え、診察の一部停止や休業となった医療機関には、すみやかに診療が再開できるよう支援を行う必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 2	必要な医療機関に対して、補助を行う。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症の流行を予測することは、困難であり、その都度対策を柔軟かつ迅速に実施する必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内の感染状況や国の対策など、刻一刻と変化する情勢を的確に分析し、必要な対策を柔軟かつ迅速に実施していく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】